

第3学年 技術・家庭科（技術分野）学習指導案

実施校 東京都千代田区立九段中等教育学校
授業クラス 第3学年
実施日 平成24年1月24日（火）6校時
授業者 田崎丈晴 印略

1. 単元名 映像でメッセージを編集・構成しよう

2. 教材名 マルチメディアの活用（東京書籍 新編 新しい技術・家庭 技術分野）

3. 単元の目標

- 映像の特徴やメディアとしての性質を利用して表現しようとしている。（生活や技術への関心・意欲・態度）
- 映像作品の制作にあたり効果的な表現方法を工夫している。（生活を工夫し創造する能力）
- 文書処理ソフトウェアを用いて美鈴公園の再開発問題を伝える立場で意図に沿ってメッセージを編集できる。（生活の技能）
- 映像編集ソフトウェアを用いて映像を編集することができる。（生活の技能）
- 映像のメディアとしての性質に関する知識を身に付けている。（生活や技術についての知識・理解）
- ソフトウェアを活用した映像の表現方法について理解している。（生活や技術についての知識・理解）

〈メディアリテラシーの目標〉

- 映像は発信者の意図に沿って編集や構成がなされていることを学ぶ。
- 生徒自ら美鈴公園の再開発問題を伝えるニュースとインタビュー全文を文字に起こしたものを発信意図に沿って編集することにより、メッセージはある意図のもとに編集・構成されることを学ぶ。
- 生徒が映像作品を企画するときに、メッセージの作り手、送り手となることを意識して企画を立て、制作意図に沿って作品づくりを進めることができる。

4. 単元について

映像は発信者の意図（どのような情報を誰に伝えたいのか、どのような表現をつくりたいのか、など）に沿って編集や構成がなされることについて本単元第1時に学ぶ。第1時の学びで映像というメディアの性質と、メッセージはある意図に沿って編集・構成されることを理解する。題材は美鈴公園の再開発問題を伝えるニュースとインタビュー全文を文字に起こしたものを編集するというものである。自分たちが撮影した映像を扱うわけではないが3種類の文脈を編集することで、ある意図をもって編集することで確かに視聴者が受ける印象が異なる、ということを確認することができる。

この学習活動での体験をふまえ、第2時以降いよいよ自分たちのオリジナルの映像作品を制作する授業へと進む。第1時で「ある意図に基づいた映像作り」という点を踏まえて、作品を企画する際情報の送り手としてどのようなことを伝えたいのか、表現したいのか、といった制作意図を明確にする学習活動へつなげる。「ある意図に沿って文脈を編集する」という点を踏まえて、自分たちが伝えたいこと、表現したいことを実現するためにシーンの流れやアップやルーズを効果的に取り入れるとい

った工夫を検討する学習活動へとつなげる。そのようにして生徒たちが第1時で学んだメディアに関する知識事項を思い出しながら、そして教師の支援を受けながら活動を進め、単に映像作品をつくるといった漠然とした意識ではなく視聴者を意識して表現を工夫する上で何が出来るだろうか、と具体的な目標をもって授業に取り組むことができれば、情報の作り手、情報の送り手としてのメディアリテラシーを養うことにつながると期待している。

5. 単元指導計画（全7時間）

時	内容	要点
1 (本時)	映像制作導入 映像のメディアとしての性質について	映像は制作意図（メッセージ）に沿って編集・構成される
2	撮影する映像のテーマを設定する	視聴者に伝えたいことを考えよう
3～4	シナリオと絵コンテを作成する	どのような場면을撮影・編集すれば伝えたいことが伝わるだろうか
5	撮影する	絵コンテを参考に撮影する。より伝わる表現があれば変更してよい
6	編集する	絵コンテを参考に編集する
7	映像の上映会をする	テーマと編集内容の整合性はとれているか

5. 本時の指導

(1) 目標

マルチメディア作品の設計制作にあたり、情報の発信者はある意図をもって文脈を編集・構成していることを理解し映像の設計に着手できるよう指導する。

(2) 指導計画

	学習活動・予想される生徒の反応	留意点・評価
導入 5分	1. 教科書を開き、映像制作をするために必要な手順を確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・設計や製作に入るために、まずは映像のメディアとしての性質について押さえておきたい。 ・デジカメなどで教室の様子を写し、カメラが一部分を切り取っていることを認識させる。
展開 25分	2. インタビュー原稿を制作意図に沿って編集する <ul style="list-style-type: none"> ・映像教材「美鈴公園遊園地拡大問題」の問題の概要を伝える ・ニュース映像と、大学教授のインタビュー映像を視聴する ・編集意図を書いたプリントを班ごとに配布し、編集意図に沿って、大学教授のインタビュー原稿をワープロソフト上で編集する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ニュースに登場する人の気持ちに関係なく、あくまでも番組として伝えたいことがニュースに乗せるメッセージであるということを伝える。 ・主張が複数入るとメッセージがぼやけてしまうので、多く抜き出そうとする生徒には最もあてはまる部分を選ぶように促す。
まとめ 10分	3. 制作意図ごとに、編集したニュースを共有する <ul style="list-style-type: none"> ・制作意図に沿って編集された大学教授インタビュー入りのニュース映像を視聴し、制作意図に沿って編集することで、同じニュースでも伝わり方が違ってくるということを理解する 	同じ人のインタビューであっても、制作意図に沿って切り取ることで視聴者に伝わる内容は変わること、映像を制作する時には「何を伝えたいのか」という制作意図を明確にし、その意図に沿って撮影、編集することが大切であることを伝える。